

6

2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3



VELDREX



RACING WITH FERRARI



2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

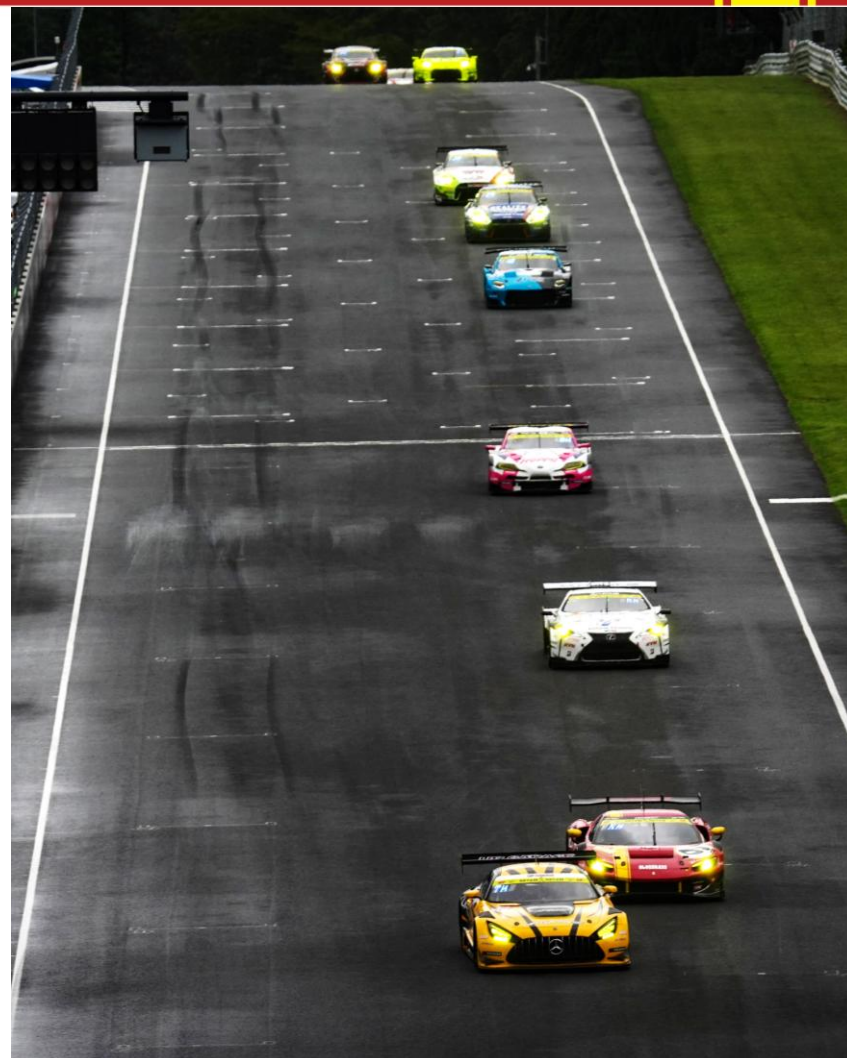
大会概要

- 大会名称：2026 AUTOBACS SUPER GT Round 6 SUGO GT 300km RACE
- 開催日：2026年9月19日（土）公式予選、20日（日）決勝
- 会 場：スポーツランドSUGO（1周：3.621km）
- 同日開催：2026年FIA-F4選手権シリーズ第9戦・第10戦
- 主催：株式会社菅生 / 菅生レーシングスポーツクラブ（SRSC） / 株式会社G T アソシエーション
- 公認：国際自動車連盟（FIA） / 一般社団法人日本自動車連盟（JAF）
- 認定：株式会社GTアソシエーション（GTA）
- 後援：経済産業省/国土交通省/自由民主党モータースポーツ振興議員連盟/公益法人 宮城県観光連盟/
河北新聞社/村田長/名取市/大河原町/柴田町/蔵王町/川崎町/岩沼市観光物産協会



2026 **AUTOBACS SUPER GT ROUND 6**
SUGO GT 300KM RACE

2026.9.19sat - 20sun Sportsland SUGO





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 参戦体制

■ ドライバー



片山 義章
YOSHIAKI KATAYAMA

生年月日 1993年11月13日
出身地 愛知県
身長 168cm
体重 69.3kg
血液型 RH+ O



ニクラス クルッテン
NIKLAS KRUETTEN

生年月日 2002年10月20日
出身地 ドイツ
身長 180cm
体重 78kg
血液型 RH+A

■ チーム体制

チーム名： VELOREX
車両名： UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3
カーナンバー： 6
タイヤ： 横浜ゴム株式会社
ドライバー： 片山 義章 / ニクラス・クルッテン
エントラント代表： 片山 義章
チーム監督： 小倉 啓悟
広報兼マネージャー： 塩田 裕子
レースアンバサダー： YUYU ・ AIKA (VELOREX アンバサダーfrom CYBERJAPN)
ゆづ (VELOREX アンバサダーfrom TONE)

■ レースアンバサダー



YUYU



AIKA



ゆづ





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 予 選

天候	曇り
コース状況	ドライ
気温	23℃ (GT300クラスQ1開始時)
路面温度	28℃ (GT300クラスQ1開始時)
予選開始	14時48分 (GT300クラスQ1- B組開始)



VELOREX、不安定な天候の中で前戦リベンジのQ1突破！ 決勝スタートは15番手グリッド！

VELOREXは、予想外に苦戦を強いられた前回の鈴鹿大会から、反省すべき点を反省し、チームの立て直しを図るべくすべての領域で詳細な見直しを図り、万全の体制で第6戦菅生大会に臨んだ。空力面とクーリング面を改良した最新型のFERRARI 296 GT3 EVOはテクニカルコースの菅生にマッチしており、片山義章、ニクラス・クルッテンの両ドライバーも得意とするサーキットのひとつである。魔物が潜むと言われるスポーツランドSUGOだけに毎年荒れたレースが展開されるが、チームはミス無くこの週末をまとめることに意欲を燃やしていた。今シーズンのSUPER GT GT300クラスは各チームから例年より多くの最新GT3車両が投入されていることもあって、予選から例年以上に熾烈な戦いが繰り広げられており、まずは予選Q1突破が勝負の鍵となる。またタイヤメーカーによるタイヤ特性の違いによって、タイヤ交換の戦略や、ピット作業時間の短縮も重要なファクターとなっている。

今シーズンのSUPER GTでは、予選方式は昨年同様のノックアウト方式が採用され、GT300クラスの予選はグループA、グループBの2組に分けられ10分間で予選Q1が実施される。予選Q2へは各組それぞれ上位9台が進出となり、合計18台での予選Q2に挑む。予選順位はQ2のタイム順で決定され、19位以下はQ1で最も速いタイムを出した組の10番手が予選19位となり、以降遅い方の組の上位と交互に順位が振り分けられる。またGT300クラスは29台が参加する激戦となるため、昨年よりポイント獲得可能な順位を15位までと拡大。一方でトップ10までのポイントは1位25ポイントにはじまり、それぞれ一昨年より5ポイント増となった。それにより、これまでも増して10位から15、16位の争いが激しいものとなる。なお、ポールポジションにも1点が与えられる。GT300クラスは高得点順に7戦の合計でタイトルが決定される（延期のマレーシア大会は最終戦もてぎ大会で代替開催が発表されている）

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI

予選結果：15位（予選Q 1:4位／ニクラス選手：1分17秒609／予選Q2：15位／片山選手：1分18秒108）

大型台風25号の影響が心配されたSUPER GT第6戦、午前10時30分からスタートした公式練習はセッション終盤に雨が降り出し、GT500車両のクラッシュにより赤旗が出されるなど、荒れ模様の展開となった。VELOREXはふたりのドライバーが最終的に27周をこなし1分19秒074をマークし、19番手で公式練習を終えた。

公式練習でドライバーが感じたアンダーステア傾向にエンジニアは対策を施して午後14時30分の予選を迎えた。今回、6号車 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはQ1グループBにニクラス・クルッテンが出走、3周目のアタックでセクター1,2,3と自己ベストタイムを刻み、特にセクター3では全体最速タイムを刻んだが、セクター4を攻めきれず1分17秒609で4番手タイム。予選Q2進出を決め、片山にバトンを繋いだ。片山は公式練習で満足にドライ路面の走行ができていなかったが、3周目に1分18秒619、そして連続アタックで4周目に1分18秒108をマークし、15番手で予選Q2を終えた。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆ 決 勝

天候	曇り
コース状況	ウェット/ドライ
気温	23℃（スタート時）
路面温度	25℃（スタート時）
決勝レース開始	13時30分 （正式スタート時刻 13時30分00秒）
レース予定走行距離	301.22km 84周 （正式フィニッシュ時刻 15時29分13秒）



15番手からロングスティントで首位まで追い上げ、最終的に9位チェッカー。貴重なポイントを加算したVELOREX！

9月20日の決勝日、前夜からの雨が小降りとなったスポーツランドSUGOは、サポートレースが終わるころには雨も止み、正午から20分間で実施されたウォームアップ走行ではまだウェット路面ではあったが、午後1時30分スタートの決勝レースへ向けて、路面コンディションは着実にドライ方向へと変化し続けていた。主催者は、安全かつ円滑なレーススタートを最優先に判断。予定されていた交通機動隊によるパレードラップを残念ながら中止し、セーフティカースタートへと切り替えた。その結果、ウェット宣言が出されたにもかかわらず、GT500、GT300の全車両がスリックタイヤを装着してのレースとなった。悪天候にもかかわらず、2日間で3万人を超える観客が集まったスポーツランドSUGOは、熱い熱気に包まれながら全車スタートを切った。

レースは4周終了でセーフティカーがピットに戻り、5周目から激しいバトルが展開された。15番手グリッドからスタートした第1ドライバーのニクラスは、狭いうゑにレコードラインを外れると水たまりやピックアップに悩まされる乾き始めの抜きにくいサーキットに手を焼きながらも次第にポジションを上げ始める。途中、コースアウトしたGT300車両がコースに戻ってスピン状態となり、そこにGT500車両が激しくクラッシュしてFCY、そしてセーフティカーが出された。6号車UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARIはそのセーフティカーランが解除され、各車がピット作業に入り始めた段階から一気にポジションをアップし、35周目には10番手、39周目には5番手、そして49周目にトップに立つとそのままピットに飛び込み片山に交代。13番手でレースに復帰した片山は、ライバルたちよりフレッシュなタイヤを武器に、最後までアグレッシブな攻めのレースを展開した。特に終盤の10位争いは各コーナーで熾烈なバトルを展開し、ラスト2週の第1コーナーで完全に抜き去りそのままチェッカーを駆け抜けた。正式結果は9位となり、貴重なポイントを加算した。

#6 UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI（片山選手 & ニクラス選手）

決勝結果：9位





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

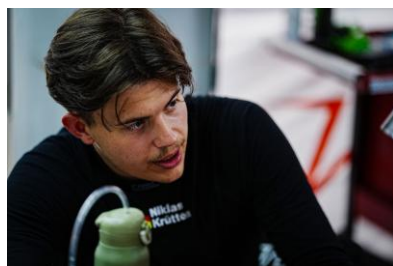
UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

◆コメント



片山 義章 選手のコメント

予選のポジションが悔やまれますが、内容的には満足できるレースだったと思います。公式練習からマシンのバランスは良かったですし、予選までにエンジニアがアジャストしてくれたセットはさらに良くなっていて、ニクラスも素晴らしい走りです。Q1突破してくれました。自分のアタックは第4コーナーで攻めすぎてリヤが流れてしまい、連続アタックに行ったのですがタイヤの美味しいところが終わっていて、ベストなアタックでは無かったです。決勝はスタートから追いつける予定でしたが、セーフティカースタートとなったことで、大幅なジャンプアップはできませんでした。それでもニクラスのペースが良かったのでギリギリまで引っ張り、自分がライバルに対してよりフレッシュなタイヤでバトルできる戦略を取りました。思いっきり走ることができましたし、速さもあったと思います。次のレースはとにかく予選で前に出て、勝利を狙います。それができるチームだと証明してみせます。



ニクラス・クルッテン選手のコメント

この週末は、不安定な路面コンディションでしたが、チームは素晴らしいマシンを用意してくれました。エンジニアのセットアップ変更も的確で、自分たちのフィーリングと走行データから最高のマシンに仕上げてくれたのが嬉しかったです。決勝スタートが切られた後の監督の指示も素晴しかったと思います。僕が走ったレース序盤は、もともと抜きのにくいサーキットなのに、まだ路面の大半が濡れていて、ラインを外してでも抜こうとするとピックアップを拾ったり、水たまりがあったりと本当に苦戦しましたが、次第に路面が乾いてきてペースも上がり、ロングステントでプッシュ、プッシュでP1まで浮上して片山選手と交代しました。自分のレースとしては、出し切った満足感があったと思いますし、片山選手とチームに本当に感謝しています。鈴鹿は自分たちのパフォーマンスが発揮できず、フラストレーションがたまる週末でしたが、この週末は、順位も含めて笑顔で終えられた週末でした。



小倉 啓悟 監督コメント

雨なら雨、晴れなら晴れという天候が良かったのですが、難しい路面コンディションに悩まされた週末でした。そんな中でも大きなミスは無く、チーム全員が集中して最後まで戦い抜いた週末だったと思います。予選から決勝まで、マシンのパフォーマンスは発揮できたと思いますし、ドライバーのコメントに対して、エンジニアがきちんと応えてマシンをアジャストしてくれました。決勝レースの戦略は、いつもと違ったものとなりましたが、ニクラスのペースも良かったので、あえて全チームの最後までドライバー交代を引っ張って、片山選手に最後まで頑張ってもらった戦略を取りました。その戦略で正解だったと思います。今回のレースで確認できたことは、我々のフェラーリ296GT3・EVOのポテンシャルの高さと、ふたりのドライバーの速さと信頼感、そしてエンジニアやメカニックの力量の高さです。足りないのは予選ポジションだけなので、次戦のオートポリス大会はそこに集中し、勝利を狙って戦います。





2026 AUTOBACS SUPER GT Rd.6

SUGO GT 300km RACE

RACE REPORT

UNI-ROBO BLUEGRASS FERRARI 296 GT3

UNI-ROBO

BLUEGRASS

WestCore

OIRC

ニチアス

TONE



zahren

MIDTOWN BBQ
STEAK X SMOKEHOUSE

EVER
CORPORATION

DOBOT

SEIHA



カトー機械株式会社

オカモト

ヒロ デンタル クリニック

CLIMAX
SOFT99 autoservice

KYO-EI
INDUSTRIAL CORPORATION

ASAHI 朝日金属株式会社



AOYAMA
ELEVATOR

中部総合監査法人

SANDISK™

AOI
TRUST
CO., LTD.

MAITY



H&F

KANETAKE

森吉物流グループ

JOTO DIRECT

愛知電線株式会社

見田工作

H&A

SASAHARA

4EAST

Digi-Tec
INTEGRO

株式会社プロデュース

KOWA

TAISEIDOBOKU Co., Ltd.

三浦電気株式会社
株式会社ナガラ
ホリオ工業株式会社
有限会社ます徳
東急建設株式会社
株式会社フクヤマ
有限会社野田商店
株式会社ウツノ
トーカイテクニカ株式会社
有限会社アイビー産業
大成ロテック株式会社
株式会社山陽セフティ
株式会社オーアンドケー
中部焼結販売株式会社
森工業株式会社
旭テクノプラント株式会社
山陽事務機株式会社
有限会社源森
株式会社キャムテック
有限会社満成鉄工所
旭日株式会社
トヨコンロジスティクス株式会社
浅野産業株式会社
株式会社トラストワーク
鍛冶島工業株式会社
株式会社モダン・プロ

株式会社みずしまモータース
株式会社SANWA
有限会社国司電器
田淵塗装
めぐみファーム
株式會社カンガイ
株式会社永遠輪
株式会社大下商店
永井建設株式会社

VELOREX



RACING WITH FERRARI